

せたがや 区議会だより

発行 平成5年5月1日 〒154 世田谷区世田谷4丁目21-27 世田谷区議会事務局 ☎(5432)1111

●この区議会だよりは再生紙を使用しています



No.139
5/1

第1回定例会の主な会議日程
3月4日 本会議(代表質問)
5日 本会議(一般質問)
11日 本会議(議案の議決)
12日~23日 予算特別委員会
26日 本会議(会派意見、議案の議決)



馬事公苑で

平成5年度予算が成立

第1回定例会開催

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、46の案件が提出され、すべて原案どおり可決されました。また、選挙管理委員とその補充員の選挙も行われました。

●5年度各会計予算 4件

○一般会計

○国民健康保険事業会計

○老人保健医療会計

○中学校給食費会計

賛成多数
賛成/自公、社、生活系、民、無久
反対/自公、社、生活系、民、無久
賛成多数
賛成/自公、社、生活系、民、無久
反対/自公、社、生活系、民、無久
賛成多数
賛成/自公、社、生活系、民、無久
反対/自公、社、生活系、民、無久
賛成多数
賛成/自公、社、生活系、民、無久
反対/自公、社、生活系、民、無久

●4年度各会計補正予算 3件

○一般会計(第2次)

○国民健康保険事業会計(第2次)

○老人保健医療会計(第2次)

賛成多数
賛成/自公、社、生活系、民、無久
反対/自公、社、生活系、民、無久
賛成多数
賛成/自公、社、生活系、民、無久
反対/自公、社、生活系、民、無久
賛成多数
賛成/自公、社、生活系、民、無久
反対/自公、社、生活系、民、無久

補正後の各会計予算額は次のとおり。
一般会計 二三五億六二六万五千円
国保会計 三四三億六八五〇万六千円
老医会計 三九九億二六五八万九千円

●条例の新設 1件(全員賛成)

○精神薄弱者福祉条例
重度の精神薄弱者の生活訓練を行い、社会参加を促進するため、「桜上水福祉園」(桜上水2丁目13、16)と「等々力福祉園」(等々力2丁目13、14)を開設した。

●条例の改正 20件

○女性福祉資金貸付条例

○生業資金貸付条例

以上の2件は貸付限度額を引き上げた。

○児童育成手当条例

○心身障害者福祉手当条例(全員賛成)

○老人福祉手当条例

以上の3件は手当額を引き上げた。

○国民健康保険条例

賛成多数
賛成/自公、社、生活系、民、無久
反対/自公、社、生活系、民、無久

○保健所使用条例

賛成多数
賛成/自公、社、生活系、民、無久
反対/自公、社、生活系、民、無久

○保健センター条例

賛成多数
賛成/自公、社、生活系、民、無久
反対/自公、社、生活系、民、無久

○自転車等放置防止条例

賛成多数
賛成/自公、社、生活系、民、無久
反対/自公、社、生活系、民、無久

○児童館条例(全員賛成)

「新町児童館」(新町2丁目23、4、101)を新設する。

○心身障害者生活実習所条例

(全員賛成)
施設の名称を「心身障害者生活実習所」から「九品仏生活実習所」に変更した。

○厚生会館条例(全員賛成)

世田谷区社会福祉協議会に管理を委託した。

○プール経営許可条例(全員賛成)

専修学校のプールの経営を許可制から届出制に変更した。

2頁へ続く

公職選挙法の規定により、議員の寄付行為や
時候のあいさつ状などは禁止されています。

平成5年度予算のあらまし

総額三〇〇〇億円を超える平成5年度予算が成立しました。厳しい財政状況を反映し、近年にない低い伸び率となっています。

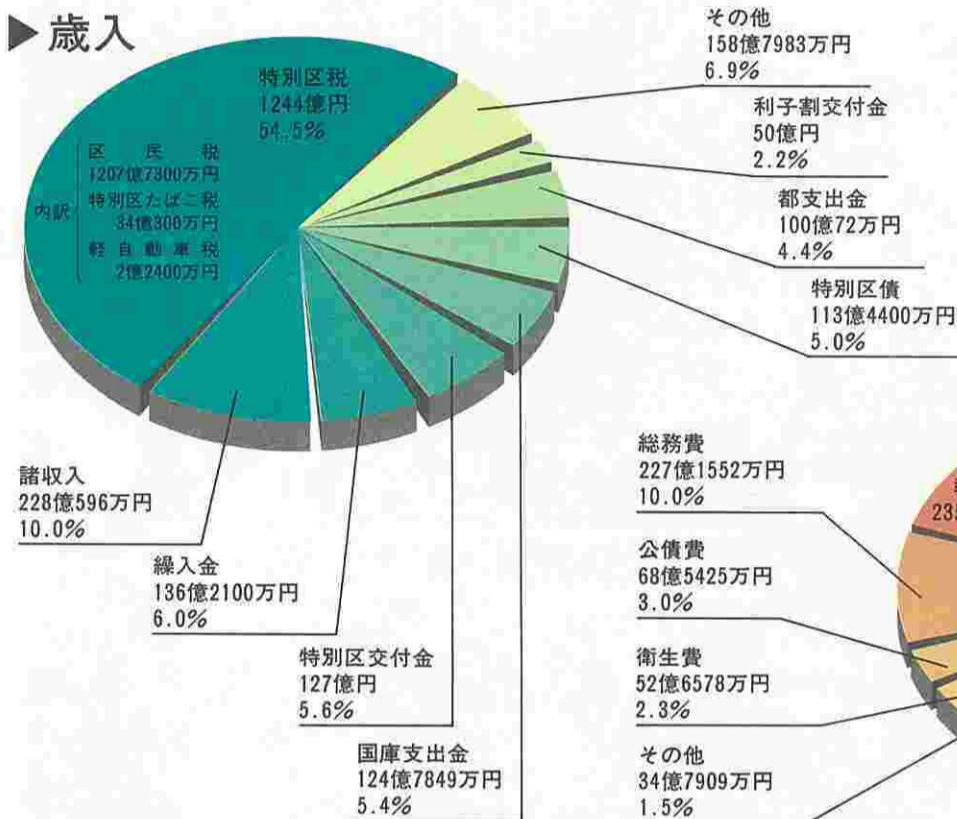
この予算案は、3月4日の本会議で区長から提案され、予算特別委員会で7日間にわたって審議された後、3月26日の本会議で原案どおり可決されました。(なお、委員会では、2人の議員から修正案が提出されましたが、否決されました)

審議の内容は次のページに、予算に対する各会派の意見は4・5ページに掲載してあります。

●平成5年度各会計予算●

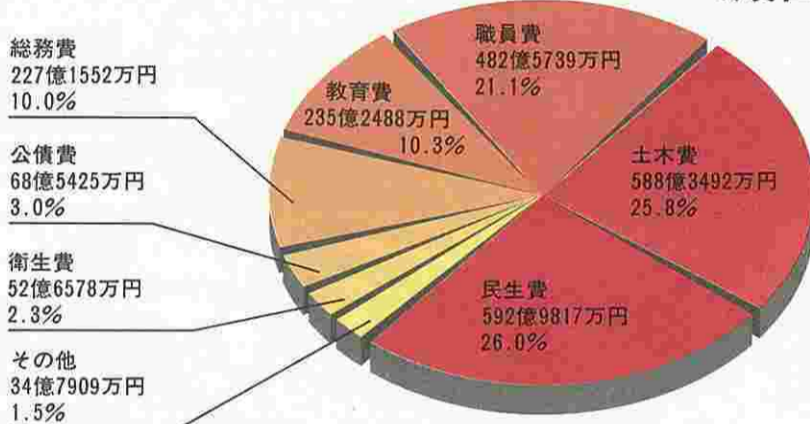
内 容	対前年度比 伸び率(%)
一 般 会 計	2282億3000万円 1.5
国民健康保険事業会計	349億5451万円 6.3
老人保健医療会計	431億3585万円 8.0
中学校給食費会計	5億6646万円 -11.3
計	3068億8682万円 2.9

▶ 歳入



一般会計の内訳

◀ 歳出



議決内容の続き

- 地区計画の区域内における建築物の制限条例(全員賛成)
- 建築物の建築を制限する地区に、「北島山3丁目地区地区計画」と「喜多見南部地区地区計画」を加えた。
- 公園条例(全員賛成)
- 次の公園を新設するとともに、世田谷公園と玉川野毛町公園の駐車場使用料を定めた。

公園名	所在地
桜丘5丁目公園	桜丘5丁目28-24
どんぐりひろば公園	北沢3丁目26-18
呑川親水公園	深沢7丁目1先
奥沢6丁目緑地	奥沢6丁目25-13
若林1丁目小緑地	若林1丁目18-8

- 児童遊園条例(全員賛成)
- 「野沢3丁目児童遊園」(野沢3丁目39-26)を新設した。
- 多摩川玉堤広場条例(全員賛成)
- 駐車場の使用料を定めた。
- 中学校給食調理場条例(全員賛成)
- 中学校給食費会計条例(全員賛成)
- 以上の2件は、改築中の小学校の給食を中学校の給食調理場で調理するため、規定を整備した。
- 職員の勤務時間・休日・休暇条例(全員賛成)
- 男子職員も育児時間を取得できるようにした。

- 区議・特別職等の報酬・給与・費用弁償条例の改正 8件
- 区議・正副議長・正副委員長
- 区長・助役・収入役
- 教育委員
- 教育長
- 選挙管理委員
- 監査委員
- 農業委員
- 選挙長・管理者・立会人

(賛成多数 賛成員、公共生活系、民無)
(賛成多数 賛成員、反対、行革)
—8ページに関係記事を掲載—



●工事請負契約の締結 5件 (全員賛成)

- 仮称駒沢地区会館新築工事 契約金額 四億六五五六万円 工事概要 鉄筋コンクリート造 地下1階地上2階建(会議室、陶芸室など)
- 下水道枝線工事 4件

工事名	契約金額
上祖師谷6丁目付近	三億三九九〇万円
喜多見4丁目付近	五億三二四八万円
大蔵5丁目	三億三九九〇万円
喜多見6丁目	二億六四七一万円

●工事委託契約の変更 1件 (全員賛成)

- 瀬田隧道拡幅工事
- | 契約金額 | 変更前 | 変更後 |
|------|----------|----------|
| 工 期 | 二億五〇〇〇万円 | 三億四〇〇〇万円 |
| | 5年3月31日 | 5年11月30日 |
- 工事方法の変更によるもの。

●区道路線の認定 4件 (全員賛成)

所在地	延長(m)
祖師谷4丁目31	一三三・九四
祖師谷4丁目32	八一・七四
宇奈根3丁目3	八七・五三
成城9丁目2	六四・六七

●選挙 2件

- 選挙管理委員
 - 選挙管理委員の補充員
- | 氏名 | 所属 |
|--------|--------|
| 山沢 修白 | 神宮 寿夫 |
| 根岸 茂 | 谷口 善志 |
| 山本 泰治 | 荒川 壽美子 |
| 甲斐 円治郎 | 麻生 淑子 |

区長の区議会招集

あいさつ(要旨)

区民生活の向上をめざし 堅実に区政を推進

景気が低迷し、区財政にも大きな影響が出ていますが、区民要望はますます多様化し、解決すべき課題が山積しています。そのため、基金や起債を活用するなど財源確保に努め、暮らしに密着した施策の推進に全力を注ぎます。また、新たな時代の区政運営の指針となる新しい基本構想を、平成7年を目途に策定します。

・学校改築のモデル校である中町小・玉川中の改築や、総合運動場の温水プール、文化・生活情報センター、文学館の建設を進めます。外国人児童生徒の受け入れ体制も整備します。高齢者福祉の充実に向け、区立で2番目の特別養護老人ホーム用地の取得や、在宅介護支援センターの開設などに取り組みます。また、子供ショートステイ、子育て相談事業を実施します。駒沢生活実習所と桜上水福祉園の開設緊急通報システムの導入など、障害者福祉の推進にも努めます。

資源リサイクル事業の充実が求められています。モデル地区の拡大や、区内公共施設での拠点回収事業に取り組みます。廃食油を原料とするリサイクル石けんの普及にも努めます。また、都市農業の活性化に力を注ぐとともに、クラインガルテンを開設します。道路整備を一層推進するため、地域基盤整備事業を実施します。小田急線の連続立体交差化や、再開発事業も促進します。放置自転車対策では、レンタサイクル事業を試行します。

広域避難場所に太陽エネルギー灯を設置します。初めての区立住宅の建設をはじめ、環境共生住宅の建設にも取り組みます。また、雨水地下浸透施設の整備や、緑化の推進に力を入れます。今後も、事務事業の見直しや事務改善に努め、簡素で効率的な行政運営を推進していきます。

予算特別委員会での 主な質問・要望事項

予算の審議にあたっては、議長を除く54人の議員で構成する「予算特別委員会」が設置され、区政の様々な分野ごとに活発な議論が交わられました。その内容を項目にまとめ、分野別にお伝えします。

企画総務領域

- 自由民主党
 - 財源確保と堅実な行財政運営
 - 都区制度改革への積極的な取り組み
 - 23区一体となったゴミ問題への対応
 - リサイクル事業移管に伴う財源確保
 - 文化・生活情報センター事業の充実
 - 施設建設での実用性の重視
 - 投票率向上に向けた強力な取り組み
 - 広聴活動の一層の充実
 - 各種行事で配布する記念品の廃止
 - 区役所敷地内への公共トイレの設置
- 公明党
 - 行財政改善への積極的な取り組み
 - 文学館での魅力ある事業の実施
 - 区役所内への郵便局の誘致
 - 施設使用料の返還規定の明確化
 - 第三セクターの効果的な活用
 - 「風は世田谷」の放映時間の変更
- 日本共産党
 - 区民の声を反映した区政の推進
 - オンブズマン制度の創設
 - 区民に親しまれる文学館の建設
 - 平和事業の積極的な展開
- 日本社会党
 - 住民参加による新基本構想の策定
 - 基金の計画的・効率的な運用
 - 地域行政制度の一層の充実

区民生活領域

- 生活者ネットワーク
 - まちづくりへの区民参加の促進
 - 区民の文化活動への積極的な支援
- 民主党・無所属クラブ
 - 行財政改善の強力な推進
- 保守系無所属
 - 文学館の建主と交わした覚書の提出
- 世田谷行革110番
 - 区長交際費領収書の適正な保管
- 自由民主党
 - 産業振興策の拡充（産業振興基金の設立、中小企業への支援強化、産業交流センターの早期建設）
 - 総合支所を核とした街づくりの推進
 - 玉川総合支所の早期全面改築
 - まちづくり地区担当制度の拡充
 - 防災対策の充実（防災倉庫と機材の整備、区民組織への支援強化）
 - ストックヤードの整備促進
 - 空き地管理の適正化
- 公明党
 - 総合支所の権限拡充と体制整備
 - 地区会館の葬祭場としての利用拡大
 - 環境基本条例の早期制定
 - リサイクル事業の積極的な推進
 - 中小企業向け融資制度の拡充
 - 勤労者サービス公社の堅実な運営
- 日本共産党
 - 図書館移転跡の区民施設への転用
 - リサイクル事業の一層の推進
 - 公共施設の緑化の促進
 - 大気汚染状況の区民への周知
- 日本社会党
 - 砧公園への火葬場の設置

福祉保健領域

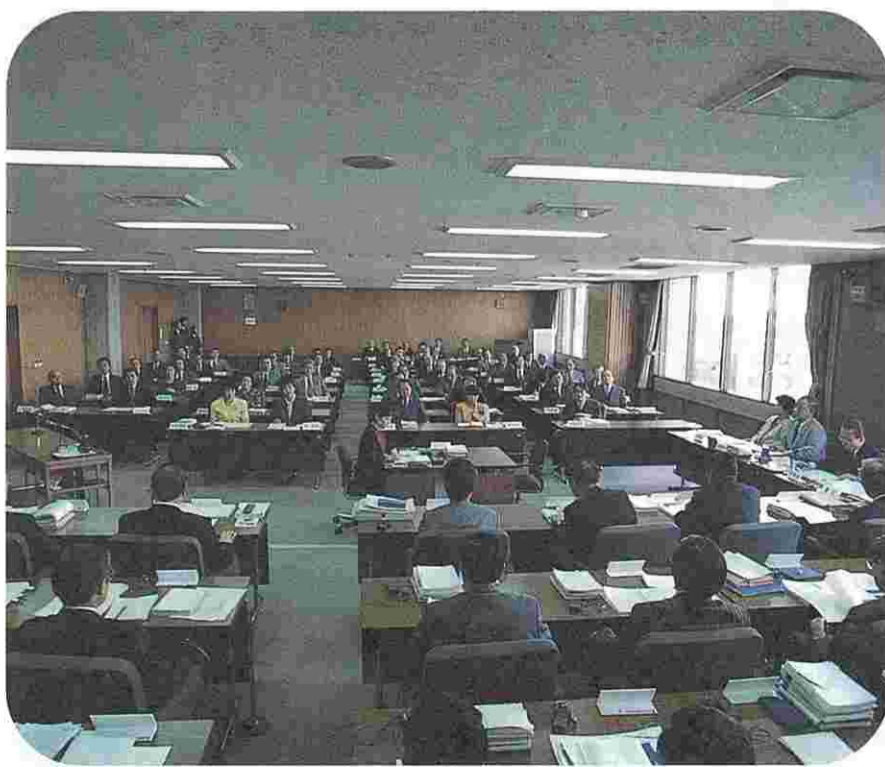
- 自由民主党
 - 福祉に携わる人材の確保
 - 低年齢児保育の拡充（年齢別定数の見直し、0歳児保育実施園の増設）
 - 都市型福祉工場の早期建設
 - 福祉機器の常設展示場の設置
 - 「高齢者寝たきりゼロ作戦」の充実
 - 敬老祝品への区内共通商品券活用
 - エイズ対策の強化（保健所の相談機能の充実、正しい知識の普及啓発）
- 公明党
 - 高度医療機器MRIの効果的な活用
 - 福祉マンパワーの確保
 - 児童扶養手当の高卒卒業までの支給
 - 私立保育園への支援強化
 - 高齢者アパート福祉事業の充実
 - エイズ対策の積極的な推進
 - 精密な眼科検診と骨密度測定の実施
- 日本共産党
 - 高齢者施策の推進（特養ホームの増設、給食サービスや訪問看護の拡充）
 - 児童クラブの整備促進
 - 乳幼児医療費助成の所得制限の廃止

都市整備領域

- 日本社会党
 - 障害者施設で働く職員の処遇改善
 - 保健所機能の一層の充実
 - 骨髄バンク・アイバンクのPR
- 生活者ネットワーク
 - 在宅サービスセンターの増設
 - 精神障害者グループホームの整備
 - 民主党・無所属クラブ
 - 痴呆性高齢者のための施策の充実
 - 保守系無所属
 - 保健センターの抜本的な見直し
 - 世田谷行革110番
 - 障害者の立場に立った施策の推進
- 自由民主党
 - 道路整備への強力な取り組み
 - 西部地域地区計画の促進
 - 撤しすぎる用途規制の緩和
 - まちづくりファンドの積極的な活用
 - 三軒茶屋・二子玉川再開発の推進
 - 駅前整備計画の促進
 - 駐車場整備方針の早期策定
 - レンタサイクル事業の推進
 - 交通安全対策の充実
 - 環8歩道橋建設の財源確保
- 公明党
 - 景観に配慮した街づくりの推進
 - 二子玉川東地区再開発の促進
 - 住宅施策の一層の充実
 - 鉄道会社への駐輪場設置の働きかけ
 - 公園・児童遊園の適切な管理
 - 砂場の衛生管理の徹底
- 日本共産党
 - 西部地域地区計画への民意の反映
 - 住宅供給の拡大
 - 東急世田谷線各駅へのトイレの設置
 - エレベーター付き環8歩道橋の建設
- 日本社会党
 - 電線の地中化促進
 - 歩行者道・自転車道の整備
 - 環8歩道橋建設計画の縮小
 - 生活者ネットワーク
 - レンタサイクル事業の促進
 - 環8歩道橋建設での障害者への配慮
 - 民主党・無所属クラブ
 - 地域の実情に即した用途地域の指定

文教領域

- 保守系無所属
 - 管理職のタクシー券未使用の実態
 - 世田谷行革110番
 - 文学館の建築確認と覚書交換の関連
- 自由民主党
 - 学校5日制の効果的な実施
 - 業者テスト廃止後の進路指導の充実
 - 学校改革の積極的な推進
 - 学校警備の機械化促進
 - いじめや登校拒否への適切な対応
 - 野外教育活動の拡充
 - 児童生徒のボランティア精神の育成
 - 園児の少ない区立幼稚園の見直し
 - ポロ市の記録誌の作成
 - 郷土資料館の駐車場の拡張
- 公明党
 - 学校と区民施設との合築
 - 学校プールのシャワー設備の改善
- 保守系無所属
 - 通学路の安全確保
 - 児童生徒への交通安全指導の徹底
 - 環境教育の積極的な推進
 - 区民の意見を反映した図書館の運営
- 日本共産党
 - 学校給食費への補助の実施
 - 社会科見学の交通費の公費負担
 - 学校図書室への司書の配置
 - 学校施設を活用した生涯学習の推進
- 日本社会党
 - 指導要録・職員会議録の公開
 - 広報紙「せたがやの教育」の充実
 - 自然博物館の早期建設
 - 生活者ネットワーク
 - 男女平等教育の一層の推進
 - 生涯学習施策の積極的な展開
 - 民主党・無所属クラブ
 - 教員の男女比率の適正化
 - 保守系無所属
 - 校長の指導力の強化と国旗等の問題
 - 世田谷行革110番
 - 教育委員の醜聞記事への対処



予算特別委員会



景気の低迷で税収不足が続くが、多様化する区民要望には的確にこたえていかななくてはならない。効率的な行財政運営を進め、計画的な事業執行に全力をあげよ。財源確保にも万全を期せよ。

住み良い都市の実現に 全庁をあげて取り組み

自由民主党
(賛成意見)

安全で快適な都市の実現には、基礎整備が不可欠だ。都市計画道路や主要生活道路など、街の骨格となる道路整備を積極的に推進せよ。特にこれから宅地化の進む地域には力を注げ。用途

平成5年度予算に対する 会派意見 のあらまし

最終日の本会議で、8人の議員が各会派を代表して、平成5年度各会計予算に対する意見を発表しました。その要旨をお伝えします。

地域の見直しにあたっては、世田谷の将来像を見据えるとともに、土地の利用状況や住民要望を十分把握して取り組み。また、再開発事業の推進や小田急線立体化の早期実現、環8新交通システムへの導入、駐車場の整備、放置自転車対策の拡充なども強力に進めよ。清掃事業の都からの移管に備え、リサイクルを一層推進せよ。財源措置も都に強く働きかけよ。

化プランの早期策定に努めよ。また、農家への援助も積極的に進めよ。また、学校5日制の導入や新学習指導要領の実施など、転機を迎えている学校教育の充実を努めよ。また、学校改革を計画的に推進せよ。改築中の良好な教育環境の確保も図れ。

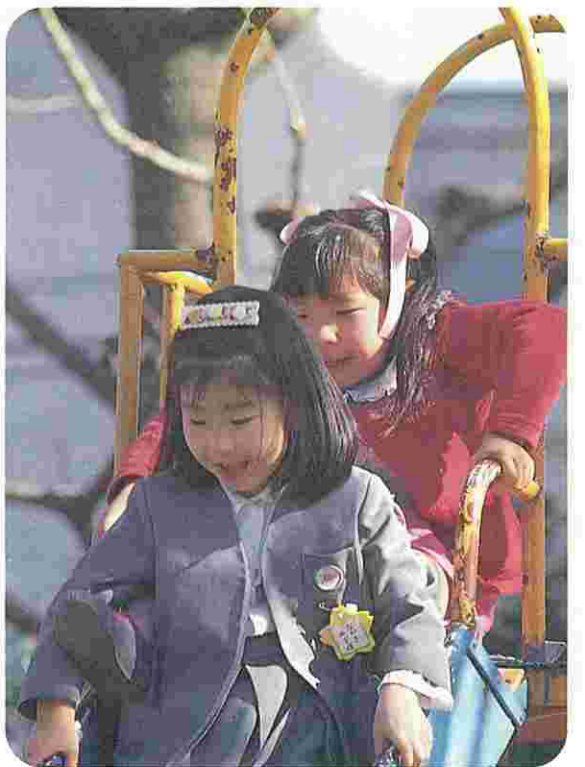


目標を高く掲げ 果敢に挑戦せよ

公明党
(賛成意見)

金丸巨額脱税事件は、国民の政治不信を決定的なものにした。今こそ、政治改革を断行し、金権腐敗の政治構造を一掃するとともに、政治の流れを中央集権から地方分権へと変えていかなければならない。

高齢者福祉では、特別養護老人ホームの増設に力を注げ。在宅サービスセンターは、中学校区ごとに設置せよ。マンパワーの確保、緊急通報システム「愛のペンダント」の支給対象者の拡大も図れ。高齢者がアパートを住み替える際、区が保証人になる制度を創設せよ。また、骨粗しょう症を予防するため、骨密度測定器を導入せよ。眼科の無料検診の実施、都市型福祉工場の建設にも努めよ。



こどものひろば公園で

社会情勢が厳しいからこそ 全力で区民福祉の向上を

日本共産党
(その他の会計には賛成する意見)

国の不況対策は、中小企業を軽視し、大企業のみを優遇したものだ。また、補助金の大幅削減など、自らの責任を地方に押し付けている。さらに、都の臨海副都心開発計画は、バブル経済の崩壊で破たんしつつあり、強行すれば都民に多大な負担を強いことになる。こうしたなか、区は区民の願いに応え、高齢者在宅サービスセンターや区民利用施設の増設、精神障害者の共同作業所の開設、クラインガルテンの設置、リサイクルモデル地区の拡大などに積極的に取り組むことを評価する。

福祉施策の充実では、入所待機者の増加が見込まれる特別養護老人ホームの増設を急げ。保育園の改築の際には、0歳児保育の拡大に努めよ。都は多大な費用がかかる資源ゴミの回収を、区に肩代わりさせた。都の財源措置を強く要求せよ。不況対策では、「小規模企業特別事業資金」を復活するなど、中小企業への



ヒューマン都市基本条例を制定せよ

日本社会党

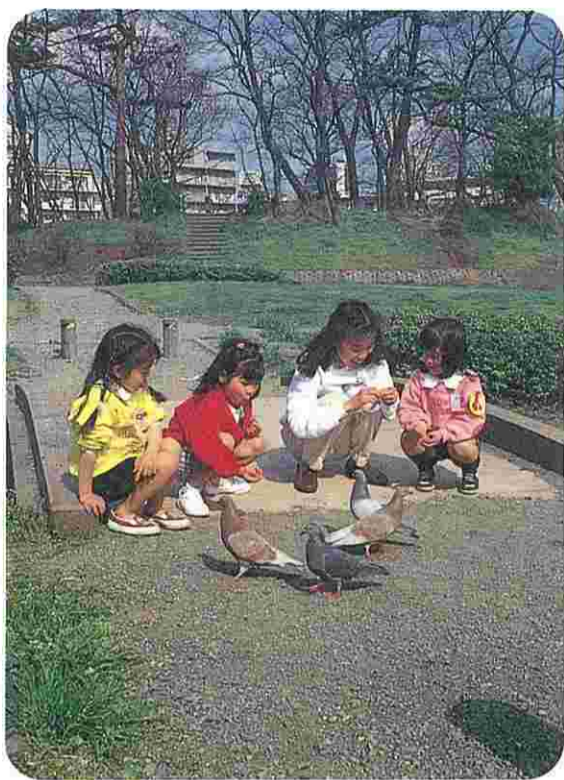
(賛成意見)

国民の政治への信頼を回復するため、政治腐敗の根絶と政治倫理の確立に全力をあげていかなければならない。

区民がいつまでも、健康で豊かに住み続けられる街を築くため、「ヒューマン都市基本条例」を制定せよ。国際貢献の立場から、国際平和交流事業を進めよ。また、公共施設は、将来の人口動態を的確にとらえ、次の基本計画と整合させて整備せよ。区政を担う職員の健康管理にも力を入れよ。

文学館と環8歩道橋の建設計画に関する議会への説明が不十分だ。情報提供はきめ細かく行え。文学館には、平和資料室を設置せよ。文学館の土地建物は、早期に買い取れ。

地震などの災害に備え、万全な防災体制を確立せよ。災害時のトイレの確保も図れ。清掃工場の新設問題には、周辺住民の意向をふまえて対処せよ。良好な自然環境の維持に向け、湧水の保全や定期的な動植物調査の実施に努



兵庫島河川公園で

めよ。緑被率の向上も図れ。深刻な大気汚染から区民を守るため、実態調査や排気ガスの総量規制を、国や都へ要望せよ。また、総合支所の権限を拡充するとともに、本庁との連携を強化し、地域に根ざしたまちづくりを進めよ。

特養ホームの入所待機者が多い。ホームの増設を急げ。障害者が安心して住み続けられるよう、「福祉のまちづくり条例」を制定せよ。

用途地域の見直しは、住民の意向をふまえ、良好な住環境を整備する観点から進めよ。放置自転車の解消に向け、レンタサイクル事業を拡充せよ。また、区営住宅の建設や家賃補助制度の充実など、住宅対策を積極的に展開せよ。

ゆとりある教育環境の整備に努めよ。学校での業者テストの禁止に伴い、進路指導の一層の充実を図れ。学校改革には、全庁あげて取り組め。起債の有効活用など財源の確保に努め、積極的に計画事業を推進せよ。



地価が下がった今こそ公共用地の取得に努めよ

生活者ネットワーク

(賛成意見)

起債は、多額の費用が必要な事業を行う場合、長期間にわたって負担を平均化できるメリットがある。地価が下落した現在は、福祉施設や街づくりの用地を取得する絶好の機会だ。起債を活用し、用地買収を積極的に進めよ。

環8に設置する予定の歩道橋が、高齢者や障害者にも使いやすいものとなるよう、スロープやエレベーターを改善せよ。また、都の砦公園再生計画に合わせ、駐車場の大幅な拡張や環8側への出入口の設置、北側道路の拡幅や急カーブの解消などを、都に要望せよ。

文学館は、建設や運営の方法、費用負担などについて、議会への説明が極めて不十分だ。しかも、当初計画の3倍の規模で建設が進められている。土

地建物の買い取りの時期なども決まっておらず、現状では反対せざるを得ない。実施計画にある博物館や水族館も、必要性を再検討せよ。

都が、区の意向を無視して、駒沢公園内に清掃工場の新設計画を進めているのは遺憾だ。また、都の肩代わりで実施する資源ゴミの回収事業には、施設や多額の費用が必要だ。都に十分な措置を求めよ。

給食調理場などの廃食油で石けんを作り、区民に使ってもらうリサイクルシステムを構築せよ。環境教育の一環として、小学校にも石けんプラントを設置するよう要望する。また、雨水浸透設備のより一層の普及に取り組め。



地域に根ざしたサービスの向上を図れ

民社党・無所属クラブ

(賛成意見)

地域行政制度の一層の充実が求められている。総合支所や出張所で働く職員の意識を高め、地区カルテの作成や消費者カレッジの育成など、地域に密着したきめ細かな施策を展開せよ。

都区制度改革に伴う大幅な事務事業の移管が見込まれる。財源の確保に万全を期せ。清掃事業の収集・運搬部門の移管が円滑に進むよう、関係者と十分協議し、受け入れ体制を整備せよ。新基本構想は、少子化や高齢化など、

著しい社会状況の変化をふまえて策定することが重要だ。特に、痴呆性や寝たきりなどの高齢者に対する施策の拡充、各種施設の複合化に力を注げ。

教育委員会と区長部局が一体となつて、学校改革の推進や開かれた学校づくりに取り組め。学校のトイレや給食設備の改善も急げ。また、教員の男女比率のアンバランスを是正せよ。厳しい財政環境のもと、事務事業を常に見直し効率的な区政運営を進めよ。



芦花公園で

公費飲食の議員名を示せ

保守系無所属

(反対意見)

議長や区長が夜の歌舞伎町などで議員に飲食させるのは公金横領との声もあるし質問への手心をとなれば問題だ。氏名を公表せよ。区長取り巻き幹部のみの多額の帰宅時のタクシー券利用は中核の腐敗で責任問題だ。文学館は建

主が売るか否かで答弁が食い違っている。交わした覚書を出せ。環8に6億円歩道橋は税金の無駄遣いだ。劇場や事務所主体の三軒茶屋再開発では活性化は無理、レストランは再検討せよ。

「お役所」的慣行をやめろ

世田谷行革110番

(反対意見)

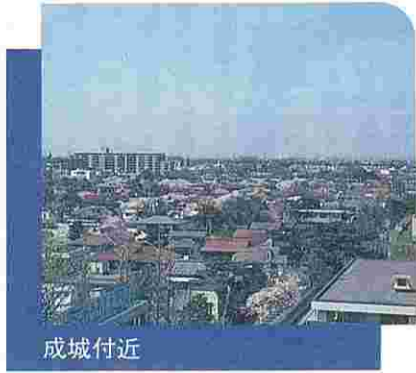
世間の常識から逸脱したお役所的慣行を改め、綱紀を粛正せよ。文学館建設では、議会の審議より既成事実の積み重ねが先行しているのは問題だ。三軒茶屋の再開発では、パブル経済の崩壊で重大な影響が出ているのに、何も

対応しないのは全く無責任だ。また、施設整備などで、必要性や使いやすさより見栄えを優先する姿勢を改めよ。予算審議は、もっと活発な議論を交わし、実りあるものとすべきだ。

代表質問

初日の本会議で、4人の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その要旨をお伝えします。

自由民主党



成城付近

不況に苦しむ中小企業を積極的に支援せよ

質問 中小企業への強力な不況対策が急務だ。公共事業や物品の発注は、区内業者を優先せよ。工事は前倒しにより、年間を通して安定的に発注せよ。緊急融資制度の一層の充実も図れ。
区長 助役 区内業者育成の観点から取り組む。早期発注に一層努力する。制度の拡充を図っている。

質問 景気の後退で区財政は厳しい状況にある。多様化する区民要望に応えるため、的確な歳入見直しのもと、バランスよく財源を配分せよ。事務事業の見直しにも強力に取り組め。
区長 企画部長 財源確保や行財政改善に努め、簡素で効率的な健全財政の維持を図っていく。
質問 今回の用途地域の見直しは、今後の街づくりに影響を及ぼす大規模なものだ。世田谷区の将来像を示す新基本構想や、総合支所ごとに作成する地域整備方針と十分整合させよ。また、策定後8年経過した都市整備方針は、見直しの指針として機能できるのか。
助役 十分な調整のもと、区の原案を策定し、都に提出する。必要に応じて修正していく。

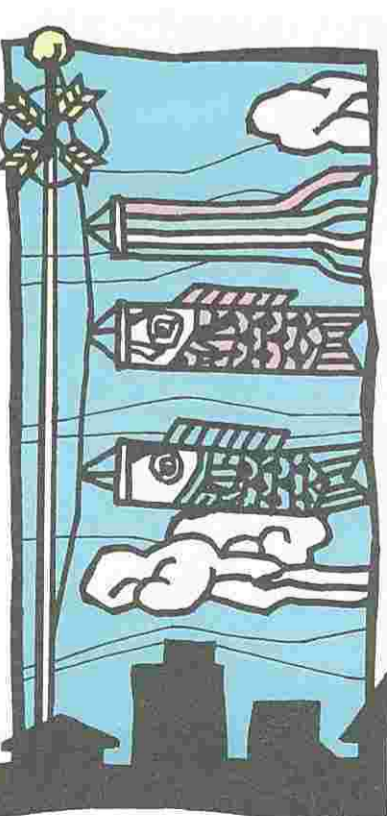
質問 建物を買借して設置する文学館の買い取りを急げ。貸主に支払う一時金は、権利金として考えているのか。また、多くの区民に親しまれる施設となるよう、運営には創意工夫を凝らせ。
助役 早期に買取できるよう交渉したい。貸主と適切な支払い方法を決めていく。幅広い事業を展開していく。

憲法の精神に基づき 区民生活を守れ



高齢者給食サービス

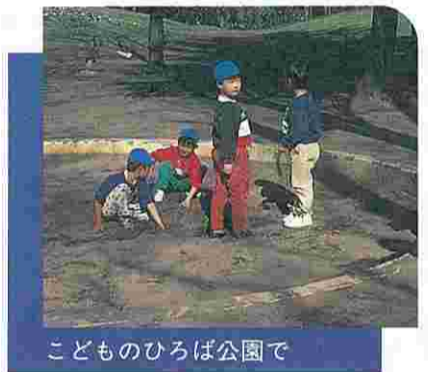
質問 国は、平和憲法の改悪や国の責任を放棄する形での地方分権を進めようとしている。都も、大規模開発優先で都民不在の政治を進めている。区は、憲法に基づき、平和と民主主義の区政を推進せよ。
区長 人間尊重と区民生活優先の立場から、区政に取り組んでいる。
質問 不況に苦しむ中小企業への支援が急務だ。無担保、無保証人の融資制度の創設を検討せよ。当面、現行の融資制度の利率の引き下げ、対象業種の拡大などを図れ。区の仕事は、区内の中小業者に優先的に発注せよ。また、給食費などの値上げには反対する。
区長 助役 利率の引き下げなど、緊急融資制度の拡充に努めている。今後も、できる限り支援していく。



質問 国は、平和憲法の改悪や国の責任を放棄する形での地方分権を進めようとしている。都も、大規模開発優先で都民不在の政治を進めている。区は、憲法に基づき、平和と民主主義の区政を推進せよ。
区長 人間尊重と区民生活優先の立場から、区政に取り組んでいる。
質問 不況に苦しむ中小企業への支援が急務だ。無担保、無保証人の融資制度の創設を検討せよ。当面、現行の融資制度の利率の引き下げ、対象業種の拡大などを図れ。区の仕事は、区内の中小業者に優先的に発注せよ。また、給食費などの値上げには反対する。
区長 助役 利率の引き下げなど、緊急融資制度の拡充に努めている。今後も、できる限り支援していく。

質問 国は、平和憲法の改悪や国の責任を放棄する形での地方分権を進めようとしている。都も、大規模開発優先で都民不在の政治を進めている。区は、憲法に基づき、平和と民主主義の区政を推進せよ。
区長 人間尊重と区民生活優先の立場から、区政に取り組んでいる。
質問 不況に苦しむ中小企業への支援が急務だ。無担保、無保証人の融資制度の創設を検討せよ。当面、現行の融資制度の利率の引き下げ、対象業種の拡大などを図れ。区の仕事は、区内の中小業者に優先的に発注せよ。また、給食費などの値上げには反対する。
区長 助役 利率の引き下げなど、緊急融資制度の拡充に努めている。今後も、できる限り支援していく。

堅実な行財政運営に努め 不況を乗り切れ

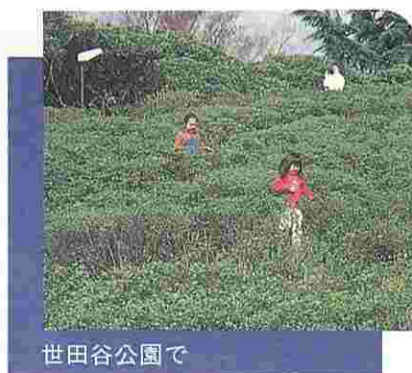


こどものひろば公園で

質問 厳しい経済状況に対応した財政運営が必要だ。都の事業が移管される際は、財源も手当てさせよ。後年度負担の大きい施設の借上げは安易に行うな。また、第三セクターを設立する場合は、目的と実効性を十分検討せよ。
区長 企画部長 都と協議していく。三セクは様々な角度から検討する。
質問 不況にあえぐ中小企業を支援するため、緊急融資制度を拡充せよ。公

質問 厳しい経済状況に対応した財政運営が必要だ。都の事業が移管される際は、財源も手当てさせよ。後年度負担の大きい施設の借上げは安易に行うな。また、第三セクターを設立する場合は、目的と実効性を十分検討せよ。
区長 企画部長 都と協議していく。三セクは様々な角度から検討する。
質問 不況にあえぐ中小企業を支援するため、緊急融資制度を拡充せよ。公

不景気に左右されず 区民福祉の向上に全力を



世田谷公園で

質問 政治不信から、有権者の政治離れが進んでいる。選挙に対する区民の関心を高め、投票率の向上を図れ。
区長 様々な啓発活動を実施していく。
質問 景気の低迷で、税収の落ち込みや補助金の削減が予想される。区民サービスを低下させないよう、財政運営に万全を期せ。起債は慎重に行え。
区長 助役 簡素で効率的な財政運営に努める。起債は効果的に活用する。

日本社会党

人規模が増やせ。また、高齢者の日常生活を支える給食サービスの拡充も欠かせない。区の全域で、毎日給食を提供できるように、一日も早い実現に積極的に取り組め。
助役 高齢対策室長 サービスの拡充を検討している。可能なところから事業の拡充に努めたい。

質問 質賃住宅制度「せたがやの家」システムは、中堅ファミリー層だけでなく、低所得者層も対象とせよ。家賃も安くせよ。身体障害者用住宅の早期建設にも取り組め。
障害福祉推進室長 都市整備部長 国 の制度を利用しているの、所得制限はやむを得ない。整備に努めたい。

質問 新基本構想は、将来の土地利用のあり方や人口構造の推移を的確に見通して策定せよ。公共施設整備指針の検討状況も示せ。
助役 将来を見据えて検討していく。
質問 良好な環境のもと、健康で豊かに住み続けられる街を築くため、「ヒューマン都市基本条例」を制定せよ。
区長 環境条例を検討したい。

質問 高齢化社会に対応するため、マンパワーの確保が必要だ。区独自の養成機関を設置するなど、介護職員の確保に全力を注げ。家族が介護している場合は、介護料の支給も検討せよ。また、寝たきりを防止するためにも、成人病検診の充実と受診率の向上を図れ。
助役 国や都と連携し、養成に努める。ボランティアの育成にも力を入れる。

質問 いじめや自殺など、子供を取り巻く不幸な事件が多発している。子供たちが健やかに成長できるよう、真にゆとりある教育環境の整備に積極的に取り組め。また、文部省は業者テストを排除する通知を出したが、区はどのように対応するのか。
教育長 家庭、学校、地域が連携してより良い環境づくりに努める。業者テストに依存した進路指導を改めたい。

一般質問

2日目の本会議では、10人の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その要旨をお伝えします。



中小企業対策について

ほか

自民 長引く不況で、中小企業の経営は非常に苦しい。また、人材の確保や育成も難しい。積極的に支援せよ。

区長 経営の安定と従業員の定着化に向け、振興策の強化に努める。

保守無 文学館建設で建主ウテナと交わした覚書は違法な契約だ。内容を明らかにせよ。工事費の積算はデタラメ、買うか否かも定かでないのに10億円の権利金を支払うのは論外。税金を公正に使う立場の者のやることではない。

助役 総務部長 一時金により賃借料を安くできる。幅広い事業を展開する。行革110番 文学館は、議会の承認や建主との賃貸契約もまままま、区が主導する形で建築が進められている。予算が否決されれば契約は結ばず、建主に多大な損害を与えることになるが、その場合、区はどう責任をとるのか。また、民間にリスクを負わせるこのような方式を今後も採用していくのか。

助役 相手方と覚書も交わしており、予算が議決されるよう、最大限努力したい。土地、建物取得できない場合は、借り上げも考えざるを得ない。

生活ネ 女性差別が依然として根強く



緑化施策について

ほか

社会 緑被率が低下している。公共施設の緑化やトラスト協会の強化に積極的に取り組め。環境に配慮したエコロジカルなまちづくりを進めよ。

企画・生活環境部長 屋上・壁面緑化を進めるなど、緑被率の向上に努める。環境型まちづくりに取り組む。

民社・無ク 公共施設の新築、改築に時間がかかりすぎる。区民が一日も早く利用できるよう、工期の短縮に努めよ。特に、計画の遅れている瀬田地区会館、砧南区民センターの建設を急げ。また、施設は用地を最大限活用し、区民ニーズに応える大きなものとせよ。

助役 区民部長 工程の見直しなど改善に努めていきたい。区画整理が終わり次第、センターの建設に着手する。区民に親しまれる施設づくりをめざす。

自民 災害時には、飲料水、電気、ガスなどのライフラインの確保が極めて重要だ。区の対策を示せ。また、都が実施した地震時の危険度や被害想定を調査結果を、今後の防災対策に積極的に活用せよ。

助役 区民部長 防災無線を活用し、水道局などと迅速な情報交換を行う。調査結果は十分参考にする。

保守無 慰労や馴れ合いのためと見える議運委の視察はやめよ。予算計上のなかった昨年度の視察ほかも問題だ。

収入役 年間予算内で適法なら可能だ。行革110番 区長交際費の領収書廃棄問題を、区長はどう考えているのか。

区長 総務部長 適正な管理に努める。



高齢者福祉について

ほか

自民 老人大学は、高齢者の生活に張り合いを持たせ、積極的な社会参加を促すうえで、大変好評だ。より多くの希望者が入学できるように、総合支所ごとに分校を設立せよ。ゲートボールなどのクラブ活動ができる広いキャンパスも設置せよ。修了生の活動の場となる施設の整備にも取り組め。小中学校や大学との交流も考えよ。また、北方領土の早期返還を強く望む。

助役 老人大学は、生きがい対策のシンボルでもあり、生涯学習事業との整合も図りながら施設面や内容面での充実を検討していきたい。

公明 在宅介護支援センターや在宅サービスセンターの機能を充実し、幅広い事業を実施せよ。また、高齢者への給食サービスや、はり・きゅう・マッサージサービスの充実を図れ。

助役 高齢対策室長 区民の立場に立った運営に努める。給食サービスの拡充策を検討している。はりなどのサービスの拡大は、関係者と協議したい。

共産 玉川地域を寝たきりゼロ作戦のモデル地域に指定し、地域福祉の拠点となる施設を整備せよ。高齢者の生活実態調査もきめ細かく行え。

玉川総合支所長 福祉部長 高齢対策室長 デイホームなどの計画的な設置に努める。新たな調査も考えてみたい。

社会 高齢社会に対応するため、福祉マンパワーの確保や福祉、保健、医療の連携強化に努めよ。また、少子化で保育需要はどう推移すると考えるか。

助役 福祉部長 高齢対策室長 確保に努める。体制を整備する。8年以降、乳幼児は微増すると考える。

民社・無ク 高齢者の生きがい対策が重要だ。地域での学習機会を提供するため、総合支所ごとに老人大学を設置せよ。空き教室を活用した高齢者の健康づくりも進めよ。また、老人クラブの結成や運営への支援を強化せよ。

高齢対策室長 今後検討したい。教育委員会と協議したい。魅力あるクラブづくりを援助していく。

公明 高齢者の骨粗しょう症を予防するため、骨密度測定器を導入せよ。

助役 衛生部長 十分に検討したい。

人立園の存続に向けた援助策も講じよ。

助役 福祉部長 多様な保育需要に応えられるよう、充実していきたい。私立園への支援に努めるとともに、国や都に対しても助成の拡大を求めていく。今後検討したい。

公明 多様化する保育ニーズに応えるため、保育室や保育ママ制度を充実し、積極的に活用せよ。子育てアドバイザーも設置せよ。

助役 福祉部長 制度の改善を検討したい。新年度から実施する子育て相談事業の経過をみて考えたい。

社会 児童生徒が減少するなか、学校教育をどう進めていくのか。また、学校開放の拡大、市民大学の充実を図れ。

区長 教育長 社会教育部長 長期的展望のもと、学校教育の充実をめざす。区民の生涯学習意欲に応えていきたい。

公明 駅前の放置自転車を増やすため、鉄道会社に駐輪場用地の提供を求める。とともに、国に法改正を働きかけよ。

建設部長 鉄道会社に協力を申し入れ。他の自治体と連携し、国に要望していく。試験的に行い、経過を見たい。

自民 レンタサイクル事業の実施にあたっては、自転車商組合との調整、駐輪場の確保、適正な料金の設定、区民へのPRなどに十分意を用いよ。

建設部長 試験的に実施し、利用状況を見ながら、より良いものにしたいたい。

公明 自動販売機による道路の不法占用を排除せよ。不健全図書や店舗併設でないたばこ自販機の撤去にも努めよ。

たばこ自販機は、夜間停止も求めよ。

区民・建設部長 一層努力する。青少年の健全育成の観点から取り組む。

自民 都営下代田住宅の建て替えでは、集会室を拡張し、地域に開放するよう都に働きかけよ。淡島通りの代沢一丁目バス停の改修にも取り組め。

公明 目黒通りの環8交差点から多摩堤通りまでの拡幅計画に合わせて、周辺への街づくりを早急に着手せよ。

生活ネ 谷戸川の清流復活事業は、砧公園内だけでなくもつと上流から行え。

公明 駒沢緑泉公園を改修する際は、プレイパークや陶芸施設を設置せよ。

建設部長 地元と相談しながら、親しまれるものとなるよう整備していく。

保守無 三軒茶屋再開発での権利者38名の撤退で発生した34億円のうちなぜ区が22億円も背負い込みみレストランを造らねばならないのか。他会派の要望は唐突で「できた」話だ。資料を出せ。

都市開発室長 最上階は、区民の多様な要望に応えられるよう計画した。にぎわいと活力が生まれると考えている。

行革110番 三軒茶屋の再開発は、経済状況の悪化に合わせて見直すこともなく、当初の計画通り進めるつもりか。

都市開発室長 事業は、大枠の変更なく遂行できると考えている。

会派名	自民	自由民主党区議員	
公明	公明党区議員	共産	日本共産党区議員
社会	日本社会党区議員	生活ネ	生活者ネットワーク
民社	無ク	民社党	無所属
行革110番	保守系無所属	行革110番	世田谷行革110番



次回の区議会定例会は6月7日～15日に開かれる予定です

要望書

区議会は、次の要望書を関係機関に提出しました。

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する要望書

義務教育費国庫負担制度は、国が必要な経費を負担することにより、教育の機会均等とその水準の維持向上を図ることを目的に設けられており、現行の義務教育制度の基盤を支えています。しかし、昭和60年以降、義務教育費国庫負担法の改正により、教材費、旅費、並びに恩給費が国庫負担対象から除外されるとともに、共済費追加費用も、一年繰り上げて来年度より打ち切られると伝えられています。

さらに、学校事務職員及び栄養職員の給与費を国庫負担の対象からはずす動きが毎年のように焦点になっております。

こうした国庫負担金の削減は、地方自治体への財政負担を一層増大させるだけではなく、義務教育制度そのものにも大きな影響を与えることと憂慮されます。

よって、本区議会は、次代を担う児童・生徒の教育環境の充実を願う立場から、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、既に国庫負担の対象を除外された費用の復元を強く要望いたします。

平成4年12月25日提出

内閣総理・大蔵・文部・自治大臣あて

請願

皆さんから出された請願の審議結果などをお知らせします。

審議が終了したもの

◆採択されたもの 3件

- 児童館及び地区会館の建設に関する請願（岡本地区）
- 精神障害者社会復帰施設の設置促進

政界不祥事の徹底究明等を求める要望書

今回の金丸信元副総理と元秘書の巨額脱税事件は、「政治には金がかかる」と言いながら、現実には政治家個人の資産を増やしているとの国民の疑念を決定づけるものであり、このような不正審判は、断じて許されるべきではない。

国民の政治不信を払拭するためには、早急に政治改革を成し遂げ、金権体質を根絶しなければなりません。

そのため、まず、選挙の公的助成制度の確立などを行う一方、企業・団体からの献金を禁止すべきである。

また、政治家個人への献金や政治家間の資金提供を禁止し、政治資金の収入・支出の流れを国民の前に明らかにし、これに違反した議員等に対して公民権停止を含む罰則の強化を図るなど、政治資金制度の改革を行う必要がある。

さらに、公職選挙法違反に対する連座制の強化、政治腐敗防止法の制定など、抜本的な政治改革を推進しなければなりません。

よって、貴職におかれては、政治不信という危機的な現状を十分に認識され、政界不祥事の徹底究明を行うとともに、早急に政治改革を断行されるよう、強く要望するものである。

平成5年3月26日提出

内閣総理・法務・自治大臣あて

に関する請願

- 学校事務職員・栄養職員の義務教育費国庫負担制度堅持等を求める陳情
- ◆取り下げが承認されたもの 1件
- 集会室にビデオ視聴施設をを求める請願

新しく出されたもの

◆企画総務委員会で審査するもの 7件

- カラ残業の是正を求める請願
- 超過勤務手当分の「予算消化」の是

正を求める請願

○坂本弁護士一家拉致事件について厳正且つ迅速な捜査を要請する意見書の提出を求める陳情

○大型労働者減税等を求める請願

○（仮称）区立文学館と（仮称）区立レス・トランに反対する請願

○三軒茶屋文化生活情報センター（仮称）のなかに、学習・研修室の設置を求める請願

○幼児施設（保育グループ・あそびの会）に通う幼児の保護者に対する手当支給に関する陳情

◆区民生活委員会で審査するもの 5件

○都市河川（特に多摩川、鶴見川、相模川）の水質改善を行うための洗濯機の構造改善を求める陳情

○農林水産業の豊かな発展と自然環境を守ることに係る陳情

○「環境自治体宣言」に関する請願

○桜丘区民センター老人休養室の設備に関する請願

○等々力児童館及び等々力敬老会館の管理改善要求と地区会館建築反対の陳情

◆福祉保健委員会で審査するもの 3件

○農林水産業の豊かな発展と自然環境を守ることに係る陳情

○診断書方式鍼灸健保の実施推進に対する陳情

○等々力児童館及び等々力敬老会館の管理改善要求と地区会館建築反対の陳情

◆都市整備委員会で審査するもの 8件

○建設省京浜工事事務所の大幅増員に関する陳情

○公団住宅の建て替え問題等に関する陳情

○駐輪場三ヶ月定期券の解約について是正を求める請願

○（仮称）S.T.ハイソールームマンション建設反対に関する請願（等々力6丁目5番）

○三軒茶屋再開発事業等今後の区の計画に、十分なサイクル機能と省資源を求める請願

○世田谷歩行者専用道1号線（地下道）に開口可能部設置を求める件に関する請願

○レンタサイクル事業計画に関する陳情

○（仮称）区立文学館と（仮称）区立レス・トランに反対する請願

◆文教委員会で審査するもの 3件

○学校図書館に専任職員を配置することについての陳情

○子どもたちの安全と学校教育費の父母負担軽減を求める請願

○新学習指導要領の見直しを求める請願

区議・区長などの報酬・給料が改定されました

特別報酬等審議会は、社会経済の動向、特別職の責任の重さなどを総合的に検討した結果、今年1月、特別職の報酬などを改定するよう、区長に答申しました。

この答申に基づき、区長から今定例会に条例改正案が提出され、原案どおり可決されました。改定後の金額と引上率は下表のとおりです。

	金額	引上率
議長	911,000円	2.94%
副議長	772,000円	2.93%
議員	604,000円	3.07%
区長	1,136,000円	2.99%
助役	911,000円	2.94%
収入役	772,000円	2.93%



ふるさとせたがや

—あの頃 この頃—

昭和26年の下高井戸駅前、写真に見られるとおり、既に靴屋や雑貨屋、食堂などの商店が立ち並んでいました。終戦から5年を経て、商品も一時期より豊富になってきた頃です。当時、京王線下高井戸駅には特急も停車し、1日の乗降客数は約3万人でした。

その後、昭和27年から29年にかけて世田谷の商業は立ち直りの時期を迎え、33年の神武景気などを契機に経済発展への新しい一歩を踏み出していきます。この駅前の商店街も、今では学生たちでにぎわっています。40年前は写真のような着物が日常の光景でした。そんな昔を偲びながら、街を散策してみたいかがですか。

現在の様子▶

永年在職表彰

中村大吉議員（自民）が、議員在職30年の功績により特別区議会議長から表彰されました。伝達式は3月26日に本会議場で行われ、区長からも感謝状が贈られました。

編集後記

この冬は、インフルエンザが大流行しました。また、木々が芽吹く春先には、花粉症に悩まされた方も多か

つたことと思います。家に閉じこもりがちなのが続いたのではないのでしょうか。でも、今日からは風薫るさわやかな5月。元気に外に出掛けたいかがですか。

○「区議会だより」がより読みやすくなるよう、今号から紙面のデザインの一部変更しました。これからも、区民の皆さんに親しまれるものとなるよう努力していきます。ご意見、ご要望などがありましたら、区議会事務局までお寄せください。

TEL (五四三二) 二一一一
FAX (五四三二) 三〇三〇